

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年9月13日
【四半期会計期間】	第16期第2四半期（自平成24年5月1日至平成24年7月31日）
【会社名】	サイボウズ株式会社
【英訳名】	Cybozu, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西 端 慶 久
【本店の所在の場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 山 田 理
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	取締役副社長 山 田 理
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第15期 第2四半期連結 累計期間	第16期 第2四半期連結 累計期間	第15期
会計期間	自 平成23年 2月1日 至 平成23年 7月31日	自 平成24年 2月1日 至 平成24年 7月31日	自 平成23年 2月1日 至 平成24年 1月31日
売上高 (千円)	2,135,461	2,242,282	4,225,344
経常利益 (千円)	423,008	370,846	666,439
四半期(当期)純利益 (千円)	261,624	207,812	397,985
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	251,079	210,340	382,619
純資産額 (千円)	5,057,205	4,000,028	4,588,752
総資産額 (千円)	6,073,331	5,240,038	5,672,961
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	495.90	429.90	761.06
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	83.3	76.3	80.9
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	551,025	502,485	787,573
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	477,253	548,993	136,723
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	247,196	796,427	848,917
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	2,740,060	2,012,038	1,756,902

回次	第15期 第2四半期連結会計期間	第16期 第2四半期連結会計期間
会計期間	自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日	自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	71.97	62.91

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第15期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要などによる景気の持ち直し傾向は見られたものの、円高や欧州債務問題の影響などにより、先行きは依然として注視すべき状況となっております。

IT業界においては、自社のコンピュータ機能を外部の専門業者に委託する「クラウドコンピューティング」の利用が増える一方、その安全性にも注目が集まっています。

このような状況の中、当社グループは、引き続き、クラウド/SaaS型サービスの拡充、海外市場顧客の獲得に注力しております。当社グループのクラウドサービスである「cybozu.com」では、バックアップデータを複数のデータセンターで保管し、24時間365日の有人監視体制をとっております。また、お客様ごとにサブドメインを発行し、独自のログインURLを設けるなどのセキュリティ機能を標準搭載しており、データ管理やセキュリティに関して、安心してご利用いただけるよう様々な取り組みを行っています。

当第2四半期連結会計期間の取り組みといたしましては、2012年7月に、紹介相手がサービスを利用する間、継続的に報酬が支払われるクラウドサービス紹介制度である「cybozu.com フレンド」プログラムを開始しました。「cybozu.comフレンド」プログラムは、これまでサイボウズ製品を商材として扱っていなかった企業にも「cybozu.com」を手軽に扱っていただくための紹介制度です。「cybozu.com」を既存顧客向けの新商材とすることや、新規顧客開拓のためのドアノックツールとすることが可能です。

また、クラウド各製品では、クラウド版の特性を生かし、定期的にアップデートできるよう、お客様の要望を反映した機能追加や改良のための開発を日々行っており、2012年8月には、クラウド型エンタープライズグループウェア「Garoon on cybozu.com」をアップデートいたしました。組織横断プロジェクトを支援する「スペース」機能を中心に7件の機能を追加しております。「スペース」機能では、プロジェクトにおけるチーム内のタスク「共有ToDo」の締め切りをスケジュールに反映し、スマートフォン専用アプリケーション「サイボウズKUNAI」からの閲覧も可能にしました。これにより、プロジェクトの遅延を防ぎ、さらにスピーディなプロジェクト進行が可能となります。

このような状況下において、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、ガルーンシリーズの売上が前期比プラスで推移したこと等により、連結売上高は2,242百万円（前年同期比5.0%増）となりました。営業利益については、前年同期を上回る投資を行い、人件費や広告宣伝費が増加したこと等により372百万円（前年同期比10.2%減）、経常利益は370百万円（前年同期比12.3%減）、四半期純利益は207百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

#### (2) 財政状態

第2四半期連結会計期間末の資産合計は、当第1四半期連結会計期間に599百万円の自己株取得を行ったこと等により前連結会計年度末に比べ432百万円減少し、5,240百万円となりました。

負債合計につきましては、製品・サービスの将来売上分の前受金が増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ155百万円増加し、1,240百万円となりました。

また、純資産合計につきましては、自己株式599百万円取得の影響等により前連結会計年度末に比べ588百万円減少し、4,000百万円となりました。

(3) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前第2四半期連結会計期間末より728百万円減少し、2,012百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、502百万円（前年同期比48百万円の収入減）となりました。これは主に、売上が前年同期に比べて増加したものの、人件費や広告宣伝等の投資による支出が増加したこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により得られた資金は、548百万円（前年同期比71百万円の収入増）となりました。これは主に、今期は有価証券の取得による支出がなく、有価証券の償還による収入や関係会社株式の売却による収入があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出された資金は、796百万円（前年同期比549百万円の支出増）となりました。これは主に、今期に自己株取得のために599百万円の支出があったこと等によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は152百万円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,934,280
計	1,934,280

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年7月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年9月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	527,578	527,578	東京証券取引所 市場第一部	当社は単元株制度を採用しておりません。
計	527,578	527,578	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年5月1日～ 平成24年7月31日	-	527,578	-	613,810	-	976,765

(6)【大株主の状況】

平成24年7月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
畑 慎也	東京都文京区	86,725	16.44
C b z サポーターズ株式会社	東京都文京区後楽1丁目4番14号	80,000	15.16
山田 理	東京都文京区	18,491	3.50
中野 博久	京都市左京区	17,100	3.24
サイボウズ従業員持株会	東京都文京区後楽1丁目4番14号	16,402	3.11
田畑 正吾	兵庫県芦屋市	12,150	2.30
西端 慶久	東京都文京区	7,083	1.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	4,969	0.94
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号	4,472	0.85
石川 靖明	東京都大田区	3,990	0.76
計	-	251,382	47.65

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)持株数は、全て信託業務に係る株式であります。  
2. 上記のほか、自己株式が47,881株あります。

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成24年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 47,881	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 479,697	479,697	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	527,578	-	-
総株主の議決権	-	479,697	-

【自己株式等】

平成24年7月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
サイボウズ株式会社	東京都文京区後楽1丁目 4番14号	47,881	-	47,881	9.08
計	-	47,881	-	47,881	9.08

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年5月1日から平成24年7月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年2月1日から平成24年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,756,902	3,312,038
受取手形及び売掛金	683,318	633,520
有価証券	2,000,000	-
仕掛品	1,668	185
原材料及び貯蔵品	15,097	11,988
繰延税金資産	32,481	28,605
前払費用	44,722	57,137
その他	17,156	13,467
貸倒引当金	992	932
流動資産合計	4,550,354	4,056,010
固定資産		
有形固定資産	225,245	258,988
無形固定資産		
のれん	4,458	3,244
ソフトウェア	84,339	86,859
ソフトウェア仮勘定	45,580	63,901
その他	8,726	8,550
無形固定資産合計	143,105	162,555
投資その他の資産		
投資有価証券	486,328	464,699
敷金及び保証金	151,875	167,676
繰延税金資産	111,100	106,690
破産更生債権等	3,294	3,410
長期前払費用	4,952	24,679
貸倒引当金	3,294	4,673
投資その他の資産合計	754,256	762,483
固定資産合計	1,122,607	1,184,027
資産合計	5,672,961	5,240,038
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,839	6,367
未払法人税等	124,080	127,378
役員賞与引当金	6,000	-
前受金	571,101	684,934
未払金	227,356	245,027
その他	150,832	176,302
流動負債合計	1,084,209	1,240,010
負債合計	1,084,209	1,240,010

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	613,810	613,810
資本剰余金	976,765	976,765
利益剰余金	3,622,410	3,631,144
自己株式	599,993	1,199,979
株主資本合計	4,612,992	4,021,740
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	23,827	21,425
その他有価証券評価差額金	413	286
その他の包括利益累計額合計	24,240	21,711
純資産合計	4,588,752	4,000,028
負債純資産合計	5,672,961	5,240,038

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
売上高	2,135,461	2,242,282
売上原価	185,591	164,854
売上総利益	1,949,870	2,077,428
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	490,520	612,121
業務委託費	81,123	69,055
貸倒引当金繰入額	69	1,651
のれん償却額	17,919	1,213
その他	945,897	1,021,256
販売費及び一般管理費合計	1,535,530	1,705,299
営業利益	414,340	372,128
営業外収益		
受取利息	2,328	2,091
受取配当金	243	162
受取手数料	1,186	546
為替差益	2,634	-
還付消費税等	-	6,909
その他	2,278	1,330
営業外収益合計	8,670	11,040
営業外費用		
為替差損	-	9,842
自己株式取得費用	-	2,475
その他	2	4
営業外費用合計	2	12,322
経常利益	423,008	370,846
特別利益		
投資有価証券売却益	9,466	-
関係会社株式売却益	160,488	-
貸倒引当金戻入額	245	-
特別利益合計	170,201	-
特別損失		
関係会社株式売却損	-	11,395
固定資産除売却損	2,144	12,840
事務所移転費用	3,485	3,890
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,734	-
寄付金	50,000	-
減損損失	10,800	-
特別損失合計	85,164	28,125
税金等調整前四半期純利益	508,045	342,721
法人税、住民税及び事業税	96,818	126,748
法人税等調整額	149,602	8,160
法人税等合計	246,421	134,909
少数株主損益調整前四半期純利益	261,624	207,812
四半期純利益	261,624	207,812

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	261,624	207,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	384	126
為替換算調整勘定	10,929	2,401
その他の包括利益合計	10,544	2,528
四半期包括利益	251,079	210,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251,079	210,340

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	508,045	342,721
減価償却費	120,051	113,224
減損損失	10,800	-
のれん償却額	17,919	1,213
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18,734	-
関係会社株式売却損益(は益)	160,488	11,395
貸倒引当金の増減額(は減少)	401	1,318
受取利息及び受取配当金	2,571	2,253
売上債権の増減額(は増加)	25,222	50,163
たな卸資産の増減額(は増加)	5,890	4,591
仕入債務の増減額(は減少)	7,998	1,527
未払金の増減額(は減少)	50,367	15,559
前受金の増減額(は減少)	50,256	113,833
その他	117,860	1,306
小計	657,169	623,482
利息及び配当金の受取額	2,571	2,253
法人税等の支払額	114,319	123,250
法人税等の還付額	5,604	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	551,025	502,485
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	1,500,000	-
有価証券の売却による収入	2,000,000	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	70,455	67,933
無形固定資産の取得による支出	80,231	76,231
投資有価証券の取得による支出	5,900	13,700
関係会社株式の売却による収入	-	24,185
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	2 136,743	-
敷金及び保証金の差入による支出	4,442	17,855
定期預金の預入による支出	-	1,300,000
その他	1,538	528
投資活動によるキャッシュ・フロー	477,253	548,993
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	247,196	196,441
自己株式の取得による支出	-	599,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	247,196	796,427
現金及び現金同等物に係る換算差額	816	83
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	780,266	255,135
現金及び現金同等物の期首残高	1,926,962	1,756,902
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32,830	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,740,060	1 2,012,038

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 2,740,060千円 現金及び現金同等物 2,740,060千円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 3,312,038千円 預入期間が3か月を超える定期預金 1,300,000千円 現金及び現金同等物 2,012,038千円
2 連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳 ユミルリンク株式会社 流動資産 277,214千円 固定資産 61,720千円 のれん 33,382千円 流動負債 121,527千円 固定負債 73,304千円 少数株主持分 28,071千円 差引 149,414千円 関係会社株式売却益 160,488千円 関係会社株式の売却価格 309,903千円 株式会社ユミルリンクの現金及び現金同等物 173,159千円 連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 136,743千円	

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年2月1日至平成23年7月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月26日 定時株主総会	普通株式	252,182	478	平成23年1月31日	平成23年4月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年7月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月20日 定時株主総会	普通株式	199,078	398	平成24年1月31日	平成24年4月23日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

株主資本の金額の著しい変動に関する事項

当社は、平成24年2月10日の取締役会において決議された自己株式の取得を行い、この結果当第1四半期連結会計期間において自己株式が599,985千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において1,199,979千円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成24年4月3日をもって、終了しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年2月1日至平成23年7月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年7月31日)

当社グループは、グループウエアを中心とするソフトウェアの開発・販売を主な事業とする単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額	495円90銭	429円90銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	261,624	207,812
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	261,624	207,812
普通株式の期中平均株式数(株)	527,578	483,396

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年9月13日

サイボウズ株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 牧野 隆一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐藤 和充 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイボウズ株式会社の平成24年2月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年5月1日から平成24年7月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年2月1日から平成24年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイボウズ株式会社及び連結子会社の平成24年7月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。